

## 呼気 KOKI 杉原真樹個展

2010年より、様々な事物を音で繋ぐことを模索するアートユニット eje(エヘ)の中核的存在としてその活動を展開してきた杉原真樹は、事物と鑑賞者の記憶をつなぐ(「ものおと」2013年)など、「物」自体に内在するものや、それと鑑賞者との交叉が生み出す見えない領域を可視化することに常に関心を注いできました。事物と体験者を結び付ける方法さえあれば、実体としての作品自体は必要ないと、杉原は言います。eje(エヘ)とは、スペイン語で軸(本質)を意味する言葉だったように、杉原は、事物がそれ単体では意味を持たず、体験者との関係性から生まれるものがその本質である、との立場からその活動を展開してきました。ときに現実の認識を変えてしまう力を持つそのような本質の追求、事物と鑑賞者が交わるエフェメラルな瞬間は、作家の生み出す世界観の中核を成すと言えるでしょう。

本展で、杉原は鑑賞者の「呼吸」を、事物という「皮相」の間をつなぐ媒介として注目しました。鑑賞者は空間を訪れ、自分の「呼吸」を通じて、様々な事物との対話に導かれます。ある時は、自らの息が生み出す泡の音に耳を澄ませ、またある時は、自分以外の誰かの呼吸の名残に身を任せることもあるでしょう。カマタ\_ソーコを舞台に、「呼吸」というメディウムが事物同士を紡ぐ一過性の空間をつくりあげます。本展は、杉原真樹の個人としての初の個展となります。

つきましては下記資料をご高覧の上、広くご紹介くださいますよう、お願い申し上げます。

### 記

- タイトル 呼気 KOKI 杉原真樹個展
- 作家 杉原真樹(すぎはら まき)
- 会期 2018年4月7日(土)~4月22日(日)
- 会場 カマタ\_ソーコ  
東京都大田区萩中3丁目22-7(京浜急行空港線大鳥居駅西口下車。産業道路を南(橋の見える側)へ徒歩5分。セブンイレブンの先。)  
開館時間 12:00-19:00 ※会期中の金・土・日のみ開館
- 観覧料 無料(※体験希望者のみ有料の作品あり。  
詳細および体験チケットの事前購入→ <https://greenfunding.jp/micromecenat>)
- 関連イベント オープニングパーティー: 4月7日(土)18:00~20:00
- キュレーター 東出菜代(ひがしで なよ オフィス・ド・アッシュ)
- 助成 アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)
- 協力 @カマタ

カマタ\_ソーコ公式ウェブサイト: <http://www.atkamata.jp/index/>

カマタ\_ソーコFacebook: <https://www.facebook.com/KamataSoko/>

お問い合わせ: [nayo.higashide@officedeh.com](mailto:nayo.higashide@officedeh.com) (東出)

### □作家略歴

杉原真樹(すぎはら まき)

サウンド、映像・インタラクティブ、グラフィック、服飾など多種多様な専門分野で活躍するメンバーで構成されたアートユニット eje(エヘ)の中核的存在として、2010年より活動を開始。2013年、あらゆる「もの」の音を鑑賞者が聴き取るインスタレーション「ものおと」で、第16回岡本太郎現代芸術賞特別賞を受賞。その後も、味覚の変化を音楽が促す体験型プロジェクト「おとゆ」(2015年)など、多数のプロジェクトを発表。2017年より個人としての作品展開を開始。独特の世界観に彩られた作品空間は、鑑賞者の現実認識をゆるやかな変容に導く。